

学校関係者評価報告

学校名 愛媛県立今治工業高等学校

評価実施日		令和2年2月26日(水)		
委員	氏名	所属等	備考	
		矢野直幸	学校評議員	
		長野加代	学校評議員	
		山本雅晶	学校評議員	
		藤枝晃	学校評議員	欠席
		武田徳夫	学校評議員	
		伊藤英男	P T A 会長	
		村上安子	P T A 副会長	
		岡田直樹	P T A 副会長	欠席
		野間奈美	P T A 副会長	
		山岡憲司	P T A 副会長	
		瀬川恵美	P T A 副会長	
評価・提言等		提言等に対する改善方策等		
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人になる学習、ものづくりの学習など、ひとつづくりの場として、お互いに思いやる教育を更に継続してほしい。 <p>(2) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県就職率が高く、関東方面への就職者数が少ないが、外志向の生徒が少なくなっているのか。 ・若者は主要都市に流れやすいが、地元にとどまって大きな流れを作してほしい。 <p>(3) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSなど、スマートフォンなどの使用における問題の早期発見に努めてもらいたい。 ・スマートフォンの使用の規制は、どのようになっているのか。 ・交通事故、いじめ、そのほか、命に係わる問題について、もし起こった場合には、厳しく指導してほしい。 <p>(4) 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱心な活動状況である。明るい話題を地域に提供できる活躍を今後も期待したい。 <p>(5) 工業教育推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体調管理の意識付けや資格取得など、地域社会に貢献できる人材育成に期待したい。 <p>2 学校運営への提言</p> <p>(1) 皆勤率も上がり、校内美化も進んでおり、気持ちの良い空気になっている一方、生徒たちの勢いのようなものが落ちているように感じる。</p> <p>(2) 生徒が、自主的に学校全体「ワンチーム」という思いを発信できるような教育に努めてほしい。</p> <p>(3) 時代の流れと生徒の気質の変化で、その年その年で課題が変わるが、一生にかかわる「ひとつづくり」に今後も取り組んでほしい。</p>		<p>1</p> <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の基盤づくりに努めていきたい。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒本人の希望を第一義に、「地学地就」の方針で、地域産業の次代を担う人材を育成できるように努めている。 ・マッチングフェアなどを行い、生徒が地元企業に対する理解を深められるように努めている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な生徒に対して、まずコミュニケーション能力を身に付けさせられるような様々な場面を活用していきたい。 ・本人が安心して打ち明けられる体制、友人や保護者からの情報がいち早く得られるような関係を作ることを課題としてしっかりと取り組んでいきたい。 ・学校の教育活動に不要な物は持ってこないことを原則として指導している。 ・物事に対して軽い気持ちで向かう生徒が多いので、重大事については繰り返し指導していきたい。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の継続化と活性化に努め、全国を視野に入れられる部を増やしたい。 <p>(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアマイスター顕彰制度の高位の受賞者が出るなど、積極的に資格取得に向けた指導を行っているが、継続していきたい。 <p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科による特性や色合いが違っていることに配慮しながら、今工として一体化できるように、学校行事などを通じて取り組んでいきたい。 		